

NTTドコモでは、スマートフォンや携帯電話の利用に関連した危険やトラブルを未然に防ぐために、対応方法を啓発する「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しております。本資料は、「スマホ・ケータイ安全教室」を学校等で自主的に開催する際に使用していただける、オンデマンド教材（動画教材）の活用方法について解説しています。

スマホ・ケータイ安全教室のお申込み窓口、オンデマンド教材のほか各種教材は下記ホームページに掲載しています。

<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/educational/>

オンデマンド教材（動画教材）

■ナレーション教材



保護者編 教材

「スライド教材」と「再現ドラマ」を組み合わせたナレーション教材

■再現ドラマ



実際にあったトラブルを元にした再現ドラマ
テーマの必要性や時間の希望に合わせて補足資料として活用できる

【応用編 映像教材】 重点を置きたいテーマがありましたら、下記から個別にご利用ください。

テーマ	タイトル	ナレーション教材 (●印は、ナレーション教材に含まれています)	時間
押さえておきたいポイント	スマートフォンニュース 小学校低学年保護者向け		4:22
	スマートフォンニュース 小学校高学年保護者向け		4:22
	スマートフォンニュース 中・高生保護者向け		4:33
スマホやケータイで実際にあったトラブル	コミュニケーションアプリを使ったやりとりでのトラブル		3:40
	友達を追い詰めるメッセージ		4:38
	メッセージのやりとりによるすれ違い		4:27
	動画SNSへの自己発信		4:22
	軽はずみな投稿（炎上）		3:51
	インターネット上のなりすましによるトラブル（SNS）		4:27
	インターネット上のなりすましによるトラブル（ゲームアプリ）		3:59
	オンラインゲームのトラブル①（結末あり）	●	3:39
	オンラインゲームのトラブル②（結末なし）		3:00
	長時間使用		3:44
	保護者の使い方	●	4:27
フィルタリング	フィルタリングサービスの概要と重要性		4:00

そのほかの教材（ホームページよりダウンロードが可能です）

■ポイントブック（A5冊子）



要点をまとめた冊子です。
相談窓口の一覧などが記載されていますので、必ず読んでいただくようお願いいたします。

【使用にあたっての注意事項】

- 接続環境によっては、映像の一部が見切れる場合がございます。予めご了承ください。
- ご利用には別途通信料がかかることがあります。
- 録画、録音、複製、動画データのダウンロードは禁止です。

ナレーション教材は全編で約35分です。それぞれのテーマに、冒頭の導入とまとめを加えた6つの区分に分かれています。
また、一部のテーマについてお伝えしたい場合は、必要なテーマだけを選択して使用することも可能です。

再現ドラマ「オンラインゲームのトラブル」

再現ドラマ「保護者の使い方」

はじめに	①押さえておきたいポイント	②実際にあったトラブル	③保護者の心がまえ		まとめ
			ルール作り	フィルタリング	

■全編で再生する例



■一部のテーマだけ再生する例



内容とねらい

子どもたちに上手にスマートフォンや携帯電話を安全に活用させるために、まわりの大人として大切なポイントを大きく3つのテーマに分けてお伝えします。

1. 押さえておきたいポイント (0:24～)

押さえておきたいポイント

内容：昨今の子どもたちの利用状況についてデータなどをもとにお伝えします
ねらい：子どもたちを取り巻く状況と、フィルタリングの利用状況について知る

2. 実際にあったトラブル (3:05～)

実際にあったトラブル

内容：インターネットやスマートフォンをきっかけにした事件やトラブルについて
ねらい：インターネットやスマートフォンがきっかけにした事件やトラブルとその背景を知る

3. 保護者の心がまえ (22:10～)

保護者の心がまえ

3-1 ルール作り (23:34～)

1 ルール作り

内容：ルールの例を提示し、家庭でのルール作りについて
ねらい：すぐに家庭でのルール作りに取り組んでいただけるよう促す

3-2 フィルタリング (29:33～)

2 フィルタリング

内容：フィルタリングサービスについて
ねらい：ネットには有害な情報があること／フィルタリングの重要性を理解していただく

■準備するもの

- ・オンデマンド教材を再生するためのインターネット接続ができる機器（パソコンやタブレットなど）
- ・オンデマンド教材を投影するための機器（プロジェクターや電子黒板など）、ケーブル
- ・ワークシートやポイントブック×参加者の人数分 ※スマホ・ケータイ安全教室のホームページからダウンロード可能（使用は任意）

■事前の準備

機器を設置し、インターネット回線に接続します。オンデマンド教材が問題なく再生されるか確認し、映像や音量などを調整しておきましょう。
使用する場合は、ワークシートやポイントブックを印刷しておきましょう。

時間	内容	学習活動		留意点
		教師の指導	保護者の活動	
3	導入	・教室実施の目的を伝える	・説明を聞く	
1	はじめに	・ナレーション教材を再生		・ナレーション教材の前に該当学齢の保護者向け動画「スマートフォンニュース」を再生しても可。
3	押さえておきたいポイント			
19	実際にあったトラブル事例			・時間が限られている場合、内容を選定。 ・保護者間トラブルは必須。
7	保護者の心がまえ【ルール作り】	<必要に応じて、ナレーション教材を一時停止> ・自分や子どもの利用状況を確認（24:02） ・発達段階や知識・判断力に合わせたルールを作る（28:50）	・必要に応じてメモを取る ・必要に応じてメモを取る	4つのステップ ・時間が限られている場合、該当の学齢の所のみ再生 「ステップ1」→小学低学年 「ステップ2」→小学高学年 「ステップ3」→中学生 「ステップ4」→高校生
6	保護者の心がまえ【フィルタリング】	<必要に応じて、ナレーション教材を一時停止> ・スマホやタブレットを貸す際のポイント（33:35） ・困ったときの問い合わせ先（34:00）	・必要に応じてメモを取る ・必要に応じてメモを取る	
1	まとめ	・ナレーション教材を停止		

	振り返り	質疑応答	質疑応答	
--	------	------	------	--

想定QA

Q.スマホを持たせる最適な時期はいつなのか？
 A.各ご家庭の考え方や子どもの発達・成長・知識、および周囲の利用状況によっても異なる。教材にもあったように、一緒に話し合ってルールを決めた上で使わせるようにするとよい。合わせて、保護者名義のスマホを「貸し出す」ことを、明確に伝えるようにするとよい。

Q.何時間くらいだったら使わせてもいいのか？
 A.各ご家庭のルールにもよるが、「生活に支障が出ない」ことが前提。睡眠を含めた生活全体の時間や学習・部活・遊び等とのバランスを考慮し、一緒に話し合っ「1週間で上限〇時間」など生活に合った使用時間を決めるようにするとよい。

Q.ルールを決めても子どもが守らない。約束を守らせるアドバイスがあれば教えて欲しい。
 A.「守れなかった理由」を一緒に話し合うこと。その時の状況や、守れなかった時の子どもの気持ちを聞き、どうすればよかったのかを一緒に考える。押しつけるのではなく、都度見直すことが重要。（できれば未就学時の時から、「ルールを守って使う」大切さを教えるようにするとよい。）
 また、「そもそも守れない内容のルールになっていないか？」「決めたルールの根拠（理由）を論理的に説明できるか？」という視点でも見直してみるとよい。説明できないルールは、子どもにとって「押しつけ」でしかない。インターネットやスマホがあるのが当たり前環境で育っている子どもに寄り添うことが第一歩である。

Q.学校から支給されたタブレットを利用。最初は慎重に使っていたが、ゲームをするようになり、今は止められなくなっている。時間制限などはできないのか？
 A.学校から支給されている機器の場合、保護者側が設定できない可能性もある。制限については学校に確認すること。